



(ノ Ⅱ ・ 。) 自主規制オンパレード

* 前書き *

「この座談会は、旅行・鉄道研究部の未来を担うはずだった現高二のスタッフが『とりあえず座談会開いて停車場に載せてみようぜ(笑)』という発言から始まったものである。」

というかつての先輩のお言葉をまんまパクリつづ有難く使わせて頂きつつ、自分たちが今まで何もしてこなかったやってきたことや旅行での事件などを省みたものである。

* 場所 *

都内のジョ○サン

ちなみにこの日はクリスマスイブ。まあいいんですけど。

* 登場人物 * (´・ω・)(´・ω・)(・ω・)(・ω・) (´・ω・)

岸 (部長)・・・良く言えば後輩と超仲がいい。悪く言えばナ (以下自主規制)
大平 (西郷さん)・・・何であだ名が西郷さんになったんだっけ・・・忘れた。
下條・・・くしゃみのあまりの音量に部員の鼓膜を破ったとか破ってないとか。
中橋・・・力仕事「大好き」なほぼ幽霊 部員の前で堂々ナ○パできる勇者w
西山・・・二次元に超詳しくこの座談会の進行役を担う。~~多分編集入るな~~・・・
本田 (筆者)・・・「帰りたい」が口癖のなんかもう残念な人。やべえ涙が・・・

以上この6人 (全員高二) で座談会を行いました。

こうして

**お互いにただ過去の鉄研旅行等での黒歴史を
弄り合うだけという史上^(きつと)最悪の座談会が
幕を開けるのである。**

ちなみにこの筆者が黒歴史（悲しい過去）保有率 No.1 なんですけどどうということなのこれ。

それでは start!! (諸事情により筆者は遅刻)

西山「とりあえずドリンクバー」

ここからしばらくサイ○○アに喧嘩を売る発言が・・・規制・・・。

西山「とりあえずドリンクバー5つ？」

中橋「そうだね」

ベル押し店員に

西山「ドリンクバー5つ」

店員「かしこまりました」

西山「よし、とってこい岸(笑)」

岸「ファッ？」

岸「何取ってきてほしいの？」

西山「冷たい抹茶のやつ」

岸「ま、抹茶？」

中橋「ほら行け」

西山「いってらっしゃい(笑)」

部長パシられ・・・

西山「で、これ何から話せばいいの？」

ここから毒舌オンパレード。規制・・・

岸「僕知らないんだけど・・・」

西山「なんかね、前やったやつを参考にしてもね、あんま参考になんないんだよ(笑)」

岸「www」

西山が二年前の座談会での会話を読み上げる

中橋「意味わからん(笑)」

ここで筆者参戦

本田「ぶっちゃけほとんど俺の話でしょ(笑)俺しかトラブルやってないし」

中橋「そりゃそうだよ」
西山「お前と中橋しかねえよ」
本田「俺とあと辞めてった・・・」
西山「彼の話はしないつもり」
本田「とりあえず女○癖について」
西山「うるせえよ(笑)」
店員にドリンクバー追加してもらい
西山「ここまで何も話さず8分経過」
中橋「このまま何も話さず1時間行っちゃうんじゃね(笑)」
というわけでそろそろ本編
西山「はいまず僕ら入学しました」
中橋「そのころまだ10人くらいいた」
本田「多かったねー」
西山「今の6人に加えて、○君、○君、・・・」(規制)
本田「いや今言えばいいじゃん、どうせ編集でなんとかなるし(笑)」
下條「○君もいたよ」
西山「○君もいたか(笑)」
岸「よく分かんない(笑)」
大平「10人だったっけ」
中橋「いや10人以上いたでしょ？」
西山「結構多かったよね」
本田「初め誰もPC班行かなかったよね」
中橋「そうそうそう」
西山「ああ、○君しか行かなかったね」
西山「ここ『閲覧により削除』しといてね(笑)」
本田「だからこそ今は普通に言っていると思うよ(笑)」
岸「『○君』にしとくから平気平気」というわけで彼らは○君に・・・
中橋「で、——と——は(岸と西山。表現がアレだったので規制)向こうの方行っちゃったからさ」

* 「向こうの方」・・・模型・技術班の活動場所とHP班・路研課の活動場所が北海道と沖縄
くらい離れているためこの表現になる。大げさに聞こえるが本当に遠
い・・・

ちなみに実際の会話でも○君=うん君で通しています。たまに誰の事だか分からない(笑)

西山「あれは確か夏だったよな」

岸「僕は覚えてない」

西山「『停車場』(この冊子)の記事書いてたら、『BVE楽しい』って思って、それから
流れで入っちゃったんだよね」

中橋「で、その時期俺と本田でPC室で遊びまくって」

本田「遊びまくってたね～。で叱られたね～(笑)」

西山「ゴッドからね。神様から叱られたね」

ここからしばらくどす黒～い話のため規制

西山「で、何だっけ、入門旅行か」

岸「あったね～」

中橋「入門旅行ね～」

西山「どこ行ったっけ」

中橋「箱根箱根」

岸「『ろまんすかー』」

西山「箱根行って滞在時間40分だ(笑)」

本田「ホントに何もしなかった(笑)」

中橋「あの時足湯行ったの誰？」

西山「多分ほとんど全員じゃないの？多分〇君とか」

大平「俺と〇は行ってない」

下條「俺は入門旅行行ってない」

ここから幽霊部員の名簿からの消滅に関するどす黒～い話へ。まあ規制・・・

西山「で、その後小田原回って」

岸「大船で乗り換えて」

中橋「久里浜から」

本田「東京湾フェリーで」

西山「金谷だ」

西山「でお前らが田舎田舎騒いで松崎先生(鉄研顧問)が・・・」

岸「書いてた書いてた(2011年の停車場に・・・)」

中橋「えー俺全然覚えてない」

ここで西山がその停車場を鞆から取り出し

『すげえ田舎すげえ田舎と・・・千葉県南部出身の私(松崎先生)としては激しい苛立ちを覚えた』

先生、本当に申し訳ありませんでした orz

西山「その後あれでしょ、蘇我まで出て、そこから東京まで特急乗ったんだよ」

中橋「さざなみだね」

岸 「黄色かったよ」(小並感・・・これでも部長。ああ・・・。)

西山 「でそんなんで終わったんだよね」

岸 「あの時はあんまり事件なかった」

西山 「でその次の冬は俺参加してないんだ」

中橋 「あれは大事件起きたんだよ」

西山 「北陸行ったんだろ？」

下條 「行ってないけど知ってる・・・」

本田 「もうね、俺が事件起こしすぎてね」

中橋 「〇〇」書きたいけど規制。ちなみにこの人はさっきの幽霊部員どす黒話の張本人

西山 「が？」

中橋 「名古屋で、ムーンライトながらに乗り遅れて」

本田 「あーあーあった。懐かし〜」

西山 「その話聞いた」

西山 「切符なくして乗らねえって言い始めて」

以下全員毒舌悪魔と化したので規制・・・

一応この事件をかるーく触れておくと

〇〇君が切符をなくす→自棄になって「ながら」に乗らないで置いてけぼり

→先生ドカーン・・・。

ちなみにその時の旅行は

いすみ鉄道貸切等房総半島一周→「ムーンライト信州」で北陸へ→各自南へ→「ながら」で帰還という0泊3日の旅行でした。

岸 「あれは？I先輩が携帯落としたやつ」

西山 「あ〜、トイレにボトンで迷宮入りってやつか(笑)」

中橋 「マジで？」

本田 「あったあった(笑)でもう出てこなかった」

中橋 「出てこねえだろうな」

本田 「いやもうあそこに入ったら俺使う気ないわ(笑)」

西山 「で冬終わって」

中橋 「春だあ〜(本田を見ながら)」

本田を除く全員が意味深に本田を見る。お、俺は悪くない。社会が悪いのだ+

本田 「できれば苦小牧はスルーでお願い(懇願)」

西山 「フッ悪いがそれは無理だ(笑)」

本田 「ああ・・・やだわ・・・」

こうして俺の黒歴史が火を放ち始めるのである。もう書きたくないよ・・・

西山 「ええと、まずどうなったんだっけ」

大平『(ムーンライト)えちご』だよ確か」

中橋『『えちご』で新潟行って」

本田「定番の快速村上ルートだ」

* 定番の快速村上ルート・・・今は無き『えちご』に事実上接続していた快速村上行きを使用すること。在来線で北に向かう場合はこれが最速だった。(今は『えちご』はなくなったが村上行は健在)

西山「あのときはいつものルートで、快速村上行き→酒田行き→秋田行き→解散し青森集合で」

下條「で俺と西郷さん(大平の事)と○君(元部員)だけなんか」

大平「遅れたんだっけ、止まったんだっけ」

西山「ほら、川の増水!それで奥羽本線が使えなくなって」

中橋「あ、で新幹線使ったやつがいたよね」

西山「新幹線で盛岡行って、でその時誰かが切符なくしたんだよね(笑)」

中橋「誰だっけ(笑)」

ちなみに落としたのは元部員。決して俺(本田)ではない。

でここからとある元部員への毒舌合戦が再開・・・。(切符落としたのとは別人、ただ現部員とトラブルがあり以下略)当然規制。

西山「で春どこまで話したっけ」

岸『『はまなす』の前』

* はまなす・・・急行はまなす。青森と札幌を結ぶ深夜急行。とても安いので鉄研で重宝されている。

西山「でほら、秋田行って」

全員「へっ?」

全員「いやはまなす車内・・・」

西山「いや、秋田行って川が増水して、まあ俺は予定通りええと」

本田「しらかみ?」

* しらかみ・・・快速リゾートしらかみのこと。

西山「そう、しらかみ乗って・・・」

本田「いや俺苦小牧でのイベント(黒歴史)が濃すぎて全く覚えてない・・・」

ここで話が進み北海道へ

西山「俺も○君とずっと動いてたんだけどね・・・」

大平「○めっちゃ寝言言ってたよね」

西山「そうだっけ」

本田「よく覚えてんな(感嘆)」

下條「ボックス(席)で寝て、で寝すぎて何か寝言言ってた(笑)」

中橋「ねえあの長谷先輩(鉄研の先輩)の」

西山「そうそう。喧嘩・・・」

本田「そのタイミングだっけ？」

西山「え、でも待って。あれは・・・集合の時でしょ。」

ここから西山の恨みつらみが・・・検閲により削除・・・。

皆が北海道での自由行動についての回想を終え

トマコマイが俺を恥の極みに落とし込むのである・・・。

中橋「でここでその次の日の・・・」(ゲス顔)

西山「そう翌朝の」

中橋「苦小牧www」

西山「えーっとなんだっけ、富良野線経由して行ったんだっけ？」

中橋「岩見沢行って苦小牧そのまま1本で」

西山「でお前が苦小牧にお土産をベンチに置き忘れて・・・」

本田「いや実は苦小牧って事件2つあったんだよ」と自ら地雷を踏みに行くスタイル・・・

中橋「そう。2つあるの(笑)」

本田「(食い気味に)いや言わなくていいよ事件は一つしかなかったんだ」

というわけで事件の概要を・・・

まず実は置き忘れは2件目だったのだ。

まず俺が財布を落としたと思い込み駅員様に列車の中をわざわざ探して頂いたのである。

ところが実は財布は自分のポケットに入っており、俺は駅員様にないものを探させるという醜態をさらし、しかもポケットに入っていたことを駅員様に告げぬまま「見つからなくて申し訳ない」という駅員様のお言葉にたまらない罪悪感を抱きつつその場を去ったのである。(この時中橋と自由行動を共にしていたため、中橋だけは全てを知っていて隠してしてくれた。)

その上で駅に物を置き忘れたのである。そして先生がわざわざ自分の買ったお土産をくださったことは未だ、そして永遠に忘れることはないだろう。

当然親にはガチギレされ、罪悪感と強い恥の感情で一体どうして自分は生きているんだろうという所まで行った。しかもこれに懲りず自分はまた事件を起こすのである。

なのでJR北海道も色々と問題がニュースで報道されたりしたが、自分はJR北海道の駅員には常に「様」をつけ呼んでいる。そしてとりあえず

当時の苦小牧駅員様および先生方、ご迷惑をおかけし本当に申し訳ありませんでした orz

そしてここで下條の黒歴史も火を吹く！！~~他人の不幸は蜜の味~~

西山「そっだよ青葉だよ！お前だよ！」

* 青葉・・・青葉駅。苫小牧駅の一つ先にある。下條の黒歴史を生んだ駅。

西山「えっとなんか貨物(列車)を待ってて、『お、向こうからDD51(型番)来たぞ』
って思って」

下條「はっ、やばいなこれ(汗)」

西山「撮ろうと思って反対側のホームに行こうとしたんだよ」

下條「やめよう(嘆願)」

この時俺はにっこりに微笑みながら聞いていた。なんでもない。

西山「そうして撮ったじゃん、『よし撮れた』と思ったら、『下條が・・・線路の上に降りたわ』とか言い出して」

全員爆笑

下條「ペットボトルが転がって、ホームの下に落ちそうだったの、で右足で止めようとしたら、片方の肩にしか背負ってなかった鞆が落ちて以下略」

下條「でそれを信じてくれない訳よ」

西山「そう、全然信じられなかった(笑)俺ら『は?』とか思って」

本田「マジか(爆笑)」

大平「青葉って苫小牧の1個向こうの駅だよな?」

下條「そうそう。直線のところ」

少し落ち着いて

西山「中橋、さむしんぐこーるとどうどりんく」

本田「なんて言ってるかよく分かんない(笑)」

* さむしんぐこーるとどうどりんく・・・something cold to drink

=何か冷たい飲み物

中橋「あっ?」

岸「危ないやつ持って来い(笑)」

西山「何か冷たいものちょうだいって言ったの」

岸「水でいいよ水」

下條「コーラと抹茶ラテで(笑)」

西山「いやオレンジジュースでいい(震え)」

中橋「凄いいもの持ってくるよ」

本田「適当に全部混ぜて持ってくればいい(爆笑)」

岸「混ぜちゃえ混ぜちゃえ」

西山「やめろやめろオレンジジュースだけにしろ、アイス以外」

岸「アイスwww」

中橋「俺何取ってくるか分かんないから」

西山「○ね(笑)」

本田「なんでもいいよもう(笑)」

で中橋が行ってる間

西山「っていうか岸全然話してないんだけど」

岸「まあその旅行行ってないからね」

中橋帰還

中橋「はい終わりました(笑)」

西山「うっそだからやめろって・・・」

西山「で苦小牧行って・・・」

岸「(唐突に)野菜ジュース」

本田大爆笑

西山「いや苦小牧・・・、違う、いや、え、野菜ジュースだけじゃないだろこれ？」

中橋「・・・でも今回は一つしか、というか混ぜてないよ(笑)」

ここでまたこの時の旅行を振り返ると

北海道入り→苦小牧近くからフェリー→仙台→帰還となるのだが・・・

この時台風が日本を直撃し、帰りがなかなか遅くなったり喧嘩が発生したりとまた色々あったのである・・・。

ちなみにフェリーでは

- ・ミスドパーティー
- ・傾き揺れる船内での卓球
- ・○装大会等が行われた。きっとこれも将来誰かの黒歴史と化すんだろうな・・・

ここから女装大会のことで盛り上がりましたが規制。

あとここで下條の俺以上の黒歴史が山ほど語られたんですが、俺の温情に免じて書かないでおきます。やっぱ俺イケメンだわ

で台風の影響をまともに食らいながらも何とか帰れましたとき。そして次の夏へ・・・

西山「で中二の夏か。四国だっけ？」

中橋「そう。道後温泉。こいつ(本田)がまた事件起こした」

本田「山科でしょ」

中橋「温泉もな」

本田「ああ、温泉で全員にはめられた奴な・・・」

岸「はめられた？」

本田「まあ山科の方はね、あれは初めからずっと旅行案が悪いって思ってたから。

当時1時寝5時起きは結構きつかった」

というわけで事件を振り返ってみましょう・・・

第1の事件はおいおい出てきますが

第2の事件・・・T先輩が立てた案でフェリーの都合上睡眠時間が極端に少ない案だったため、(実質2時寝4時半起き)フェリー下船直後の電車で1駅だけ寝過ごしてしまった事件。予定よりも動きが早かったため、実質的な遅れは0で済んだ。お、俺は悪くない、社会が以下略

西山「ジャンボフェリーな、あれはもう鉄研旅行では使いたくない」

本田「もうあれは二度と使ってほしくない。後輩のためにも」

でしかも最寄駅から船に接続するバスが10分遅れて皆で「もうバス来ないんじゃない？野宿だよったーわーい」とか言って大変な目に遭いました。これは社会が悪い

そして話は道後温泉＝第1の事件現場へ・・・

中橋「俺たちは他全員(本田以外)2階席行って」

本田「俺その時金なかったからね」

西山「ああそうだったな！」

ここで道後温泉のシステムを簡単に・・・

道後温泉は①入るだけ

②お菓子・お茶、休憩場所付き等いくつかの選択肢があり、当然金額にも差が発生します。自分だけが①を選択したため他の皆には到底時間が足りなくなり、待ち合わせの時間によりやく説明などが終わって風呂に入ることができくくらいの差だったため、第1の事件が起きたというわけです。

ここからしばらく某先生の話へ(顧問ではない)カーット！

あと時系列は「道後温泉→フェリー」の順です。逆になっていますがあしからず・・・

この旅行はほぼ四国オンリーだったため後は特になし。冬旅行へ・・・

西山「その次冬か。酒田のラーメンといい温泉といい・・・」

下條「横川のSLのやつ」

岸「ああ」

西山「ああ思い出した」

下條「あれ西山が作った案じゃないの？」

西山「そうだった、すっかり忘れてた(笑)」

本田「あの時『きらきらうえつ』乗ったんだっけ？」

西山「乗った乗った。往復した」

はいここでこの旅行を振り返ります

東京→高崎→SL/DLクリスマス確氷^{うすい}で横川まで行き確氷鉄道文化村→高崎→酒田観光→新潟から『えちご』で帰還

この時は『足利イルミネーション号』や『きらきらうえつ』といった特別列車を利用しました。いずれも快速列車のため乗車券+指定席券510円で乗車できました。

西山「で確か(鉄道)文化村入って、数時間いたよね」

岸 「うん」

西山「たしか最初24系の寝台車入ったんだよ」

*碓氷鉄道文化村には様々な車両が展示されており、24系はその一つ。

岸 「1時間きた」(ここで座談会1時間突破)

西山「そしたら『寒い寒い』ってなって」

ここで客待ち&未だドリンクバー以外注文していない現状に気付き

中橋「待ちいるよ」

西山「ああそうだな、そろそろ昼飯の時間だし」

本田「いや何か頼もうよ……。もう結構いい時間だし」

そして話が酒田での思い出に移り

西山「確か、路面凍結してる道の上をみんなで自転車でハッポー」

*酒田では色々ところでレンタサイクルをやっている。それをお借りした。

ちなみにラーメン食べ→自転車借り→温泉へ、という流れだった。

ここで今まで旅行で新潟行き過ぎたためいつ何をしたかがこんがらがってしまう……。

そしてそのままやむやに&ここでいい加減飯を注文→話は中二(新中三)の春へ

春旅行ざっくり行程

『ながら』で関西→フェリーで九州へ→各自自由行動→フェリーで関西へ→小田原からロマンスカー(一部は乗らず小田原で解散)→新宿で解散

それぞれの自由行動を紙に記すスペースがないため残念ながらそこは割愛。

そしてページに余裕がないので(春旅行は他より日数が長い)ため事件だけ挙げておくと

*西山が車内に大きなカバンを置き忘れる(後に発見され返還。良かった良かった)

*宗太郎(秘境駅、宮崎県)での長時間停車中、列車を撮影しているとおじさんに絡まれる。

あれはこちらに非はなかったはず。自分が撮影されたという被害妄想からではないかということでの封印。

*博多ラーメン美味しかった。これぞ旅の醍醐味。→しかしその後西山が食べたものにあたり苦しむ……。ラーメンが容疑物では?等の憶測が飛びまくった。**が、**

*実はこの旅行では何人も同様の状態になって吐いてしまっており、最有力容疑は某フェリーでの食事では?という結論に至った。(ちなみにかつてこの船では食中毒事件が以下略)

このせいで数名の部員が旅行を途中で抜け新幹線で帰るという後味悪いものになった部員も存在した。ちなみに筆者はこの船のものは食べなかったためか無事だった。ざまあwww

ここで出た名言

本田「キッズケータイってケータイって呼んでいいのかな」

中橋「ダメ(即答)」

本田「そんなダメなのw」

西山「あれは北○○w」規制……。

とまあ適当に春が終わり

ここでかつての大問題が浮上www

西山「で春終わって、中三の夏ってどこ行ったっけ」

岸 「う～ん」

西山が思いつきかつての駐車場を取り出す(夏旅行は全て記載されている)

中橋「中三から全員は行ってないんだよ」

下條&岸「全員行ってない・・・www」

全員「そうだ、全員、行ってないwww」

そう、この時の案をこの学年全員が嫌がり個人旅行に走った。(自分は元部員2人と東北に行った)そしてここから旅行の参加率が低下し問題となり始めるのである・・・。

岸 「あの伝説の」

本田「中部・関東の旅だw」

そしてここから自分の個人旅行「行くぜ、東北」(2013年度駐車場、ネットで写真カラーで閲覧できますので是非。文荒いですがご容赦を。)の話で盛り上がる。

その後

西山「夏は何もなかった。で次、中三冬。どこ行ったっけ」

ここで俺の中の悪魔が騒ぐ

悪魔「いいじゃん残りページ少ないしお前行ってないんだからカットしちゃえばw」

俺 「いやいやでも書かなきゃ・・・」

悪魔「もう12ページ目だよ?ね～え?」

俺 「あ、あれ、おかしいな、手が勝手に・・・」 お、俺は悪くない、いや、俺が悪い・・・

申し訳ございません。次行きます・・・。

中三(新高一)の春・ざっくり行程

『えちご』で村上へ→SL村上ひな街道号など使い北上→フェリーで北海道へ→普通列車を乗り継ぎ夕張へ→一部部員は新千歳空港、それ以外は札幌へ→全員集合し『はまなす』で本州へ→最後は新白河から新幹線で帰還した。

で色々話しているうちに二時間経過し

岸 「一体(座談会の話)何ページ書くの・・・」

『はまなす』の話に移り

中橋「で『はまなす』乗って」

西山「東室蘭だ、ほらあの」

中橋「キ○ガイw」

西山「覚えてる？」

本田「いやまあ旅行に行くとな、いろいろありますねw」

東室蘭にて

東室蘭で乗った誰かに対してかなり過激な送り迎えが行われたのです・・・。

あのよくある「電車と一緒に走る」的なね。六、七人で。夜中に超大声出して。(嫌味)

西山「そう14系客車だからさ、車内静かだからさ、外からの声が良く聞こえる(柔らかい表現)」

そしてまたゲテモノドリンクバー

中橋「はい」

西山「なにこれグレープフルーツ？」

中橋「オレンジジュース：飲料水＝1：10でブレンド」

本田「果汁何%だよwww」

そして高1の夏

西山「もうさくっと流そう」

この時俺と中橋は行かなかったため対戦ゲームを始める

で座談会の方は

下條「(資料取り出しながら)こっちの方が早いから」

本田「(下條をバシバシ叩きながら)ああ優しいねえらいねえらいねえ」

下條「ばわはら。ばわはら。」

ここで初めて西山が制服なことに気づき

本田「西山が制服なのに今気づいた」

西山「今更？」

岸「しゃあない」

本田「え何、学校一回行ったの？」

西山「いや、いつも俺こうだよ」

本田「・・・いやまあ正装大事だしね」

大平&下條「せいそう・・・」

西山「お前さあお前やっぱ北行っておかしくなったよ(以下規制)」

一体お二方は何想像したんですかね。はて。

でもろもろ話終わり(夏旅行は去年の駐車場をご覧ください)

西山「じゃあ岸締めくくって」

岸「『しめ』ってなに」

西山「『締め』して。クリスマスに集まった残念な子たちです、おい、部長」

岸「どしたの？こんちゃーす」

全員「・・・。」

西山「部長さんなんか言って」

岸「うん」

西山「じゃあ今の後輩に向けて一言」

本田「何かあんの？」

西山「こないだ眞壁先輩(現大1)に聞いた名言がね、『え？鉄研で(閲覧により削除)な名前挙げてったら埒あかないでしょ』。いやなるほど〜と思ったけど、でお前は？」

岸「は？いや〜何て言えば良いかわからないから……。ま、問題起こさないといいけどね、うん。」

西山「は〜い、クリスマスに集まった残念な子羊ちゃんたちのお話でした」

岸「おわり〜」

編集後記 (ノ 兀 ・ 。) ホントこれ書くの大変だった……。

以上で終了となります。本当はもっと書きたかった部分も多々あるのですが、書くと何人もの首が飛び、将来が真っ暗になり、訴えられたりしそうなので(笑)。

まあ後輩に向けて少しだけ書きたいこと書かせていただきますと、程度の差はあれ、皆誰しもミスしたりするわけです。ここには書いていませんが、皆大なり小なりトラブルなりミスなりやっています。その上で大事なことは

◎潔く謝る。いさぎよミスしたら非難されて当たり前。自分の尻拭いは自分でやるのが大事。

◎くよくよし過ぎない。普通ならするはずのないミスも心の持ちようによっては……。

◎妥協も大事。皆が皆同じ考えな訳がない。自己主張するだけじゃトラブルだらけ。

とりあえずこの3点だと僕は思います。こうすれば失敗しても周りがいくらか助けてくれます。ただ鉄研旅行はあくまで集団行動。嫌なら個人で旅に出てください。ただし、当然自分の身を守るのは自分だけ。自由度も高いですがリスクも高い。

なので自信がないなら鉄研旅行に行きなさい。将来団体行動ばかりだから、今から慣れておきなさい。(笑)

さて、ここまでお読みいただき本当にありがとうございました。このコーナーは一種の箸休め的な部類でして笑いながら読んでいただければ幸いです。

ミスばかりしていた少年も気づけば高2に班長にと、時は決して止まってはくれません。こっそり隠していたゲームが見つかって、時は戻せないのです。(笑)

受験も同様です。ぜひ、各々の志望校に無事合格できるよう頑張ってください。チャンスは1度きりです。せっかく与えられた好機をわざわざ溝どぶに捨てることの無い様に。

最後までお読みいただきありがとうございました。

文責 高2 本田 智也